

## II 年間指導計画

本校のめざす学校像  
兵庫県立大学との緊密な連携のもとに、総合科学科としての特色を生かした教育をすることにより創造性あふれる校風の樹立に努める

- 学校教育目標
- 1 自ら考え、自ら学び、個性を伸ばす
  - 2 自然科学を中心に、人文・社会科学も広く学び、科学への関心を高める
  - 3 国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材を育成する
  - 4 科学者や大学生と交流し、高い理想をもつ心豊かな人間を育成する

育てたい生徒像  
思いやりや寛容の心を持ち、多様な人々と共生する態度を養い、自主・自律的に生きる力をつけた生徒

いじめ対応チーム：教頭 生徒指導・寄宿舎運営部長 保健・支援部長 養護教諭 寄宿舎運営係  
各学年主任 キャンパスカウンセラー スクールソーシャルワーカー  
\*状況に応じ関係職員等も含めて編成

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組
4月	いじめ対応チーム ・指導方針の確認 ・前期計画作成  職員会議 ※1	情報モラル講演会(研修) ※6  いじめアンケート	個人面談・個人状況把握 ※2
5月	保護者向け啓発 (ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会 ※5	いじめ ※3 → 人権・特別活動計画に	個人面談・個人状況把握
6月		(文化祭) 人権教育研修 いじめアンケート ※7	個人面談・個人状況把握
7月		人間関係づくり カウンセリングマインド研修 ※4 (球技大会) ※8 いじめアンケート	三者面談 個別面談 個人状況把握
8月			カウンセリングマインド研修
9月	いじめ ・情報共有 ・後期計画等  職員会議	人権教育研修 いじめアンケート	個人面談・個人状況把握
10月		学級・学年づくり 人間関係づくり (体育大会) いじめアンケート	
11月	保護者向け研修会	いじめ実態把握 (2年研修旅行)	個人面談・個人状況把握
12月		人権教育研修 いじめアンケート	三者面談・個人状況把握
1月		学級・学年づくり 人間関係づくり いじめアンケート	個人面談・個人状況把握
2月		いじめアンケート	
3月	いじめ対応チーム ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善  中高連絡会	カウンセリングマインド研修 いじめアンケート (球技大会) 次年度に向けクラスづくり	

**いじめ防止対策の達成目標**  
未然防止、早期発見に向けて

- 1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。
- 2 いじめ対応チームを中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行う。
- 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。
- 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実にし、学校全体で組織的に対応する。

危機管理の心構え「さしすせそ」

さ：最悪を想定する  
し：慎重に対処する  
す：素早く対処する  
せ：誠意を持って対処する  
そ：組織全体で対処する

- ※1 職員会議  
いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
- ※2 個人面談／個人状況把握  
年度当初、各考査後等の区切りごとに個人面談を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。
- ※3 いじめアンケート  
年度当初、大型連休明け、各学期始めに、休み中の状況把握と同時にいじめの実態把握のアンケートを実施する。生徒、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。
- ※4 カウンセリングマインド研修  
研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。  
(全校生徒、職員、保護者)を対象とする。
- ※5 保護者向け啓発／研修  
ホームページ等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知する。
- ※6 情報モラル講演会(情報教育講演会)  
昨今のソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。
- ※7 人権教育研修／情報モラル研修  
人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。
- ※8 学級・学年づくり／人間関係づくり  
前期、後期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについてLHR等で学習するとともに、ふるさと貢献活動等で体験する。